

# 東京子育て応援事業

～社会全体で子育てを応援します～



# 東京子育て応援事業とは

「東京子育て応援基金」を活用し、NPO・企業等による先駆的・先進的な取組を支援

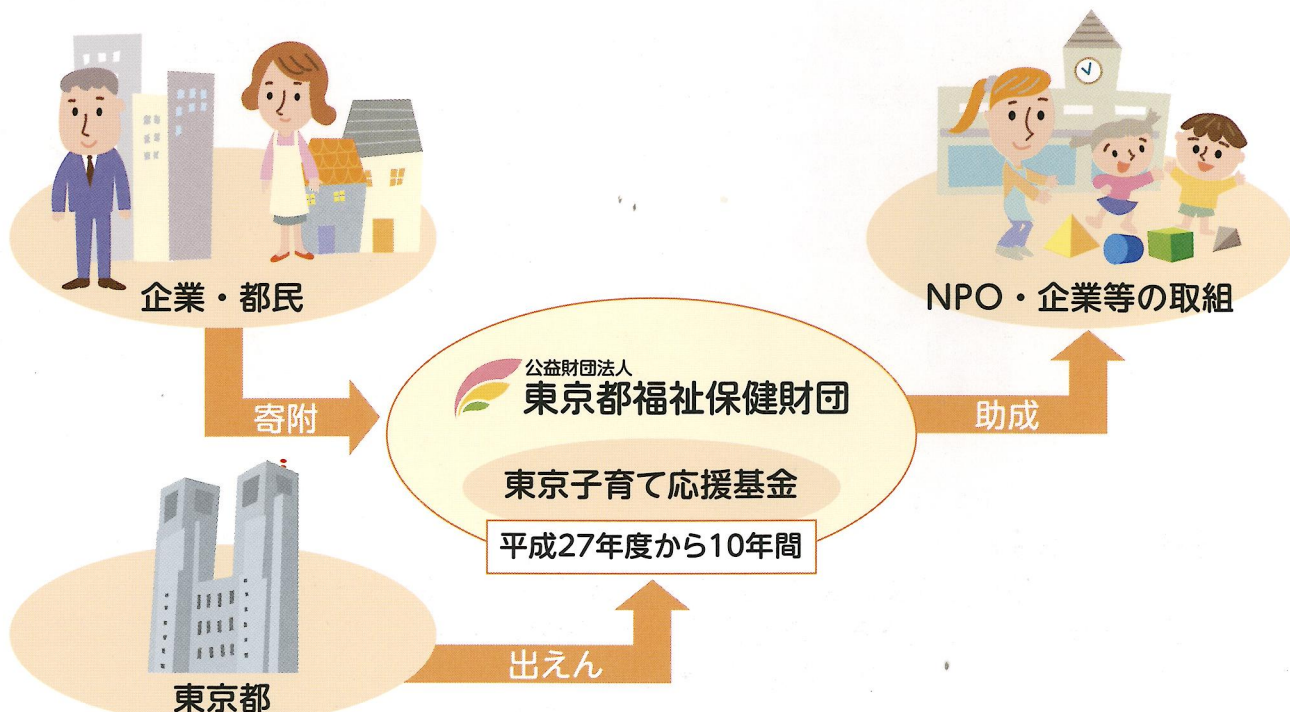
現在、東京は、かつて経験したことのないほど急速に少子高齢化が進展しています。とりわけ、東京の合計特殊出生率は1.13（平成25年）と全国最低であり、少子化の進行は顕著です。

少子化の直接の要因は、「未婚化・晩婚化」「初産年齢の上昇」「夫婦の出生力の低下」と言われており、その背景として、結婚や子供を持つことへの価値観の多様化、子育てに対する負担感、不安定な就業状況など様々な要因が指摘されています。

こうした状況を打破するために、結婚や出産をためらう若い世代や、子育て世帯に対する環境の整備や、社会全体で子育て支援を進める気運の醸成が求められています。

（公財）東京都福祉保健財団では、都からの出えんと都民等からの寄附による「東京子育て応援基金」を創設し、NPOや企業等による先駆的・先進的な取組に助成を行います。また、その取組の効果を広く普及することにより、東京の子育て応援の裾野を広げていきます。

## 〈東京子育て応援事業のイメージ〉



# 助成対象となる事業

少子化の要因を解消するためのライフステージを通じた幅広い取組を支援します

ライフ  
ステージ

学齢期 (6歳～18歳)

大学・就職  
(18歳～25歳)

就職後～  
結婚 (25歳以降)

出産前

出産

子育て期  
乳幼児期～ (0歳～)

少子化の  
要因

未婚化・晩婚化

初産年齢の上昇

夫婦の出生力の低下

## ⑦ 若者支援事業

希望する若者が将来家庭を築き、子育てが営める生活ができるよう支援する事業

平成26年 都モデル事業 (参考)  
株式会社トライグループ

- ◆事業名  
2020年東京五輪を見据えたニート・フリーター層の戦略化
- ◆事業内容  
18歳以上のフリーター等を対象としたキャリアアップ講座を個別指導



## ⑧ 親子の健康づくり事業

出産、育児に関する親子の健康づくりを支援する事業

## ① 出会い・結婚支援事業

将来家庭を築くための出会いの場づくりや  
結婚に結びつけるために支援する事業



## ② 多世代交流事業

高齢者等の様々な世代による子育て支援事業

## ③ 子供・子育て支援事業

ア～エのほか、子供・子育て支援対策として効果が期待できる事業

平成26年 都モデル事業 (参考)  
社会福祉法人 東京武尊会

- ◆事業名  
子どもサポート事業「武尊塾 (BUSONJUKU)」
- ◆事業内容  
法人施設を利用した無料学習塾の運営



## ④ 子供・子育て支援事業

ア～エのほか、子供・子育て支援対策として効果が期待できる事業

平成26年 都モデル事業 (参考)  
特定非営利活動法人 子育てネットワーク・ピッコロ

- ◆事業名  
一時預かり事業におけるアドバイザー養成事業
- ◆事業内容  
一時預かりを利用する家族と支援者をマッチングする  
アドバイザーの質の確保と資質向上の研修



# 助成内容

## ◎助成対象者

都内に本社または事務所を有する法人  
(設立後3年を経過しており、かつ活動実績があることなど一定の要件を満たす法人)

## ◎助成対象経費

初期投資費用及び事業運営経費

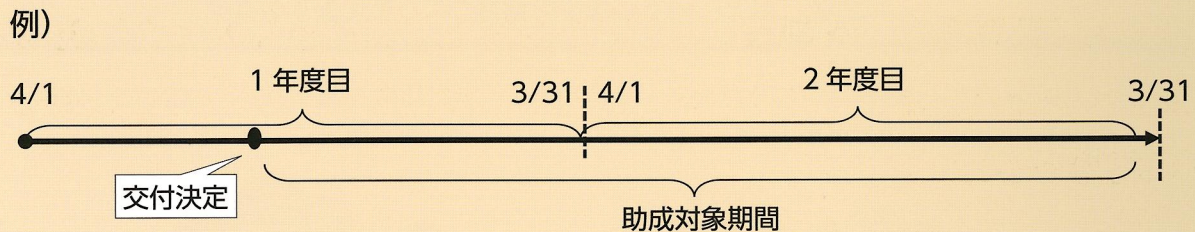
## ◎助成額

### ●助成額の算定方法

助成基準限度額2,000万円または助成対象と認められた経費のうち、いずれか低い額の2分の1と、総事業費から寄附金その他収入を控除した額とを比較して低い方の額を助成します。(最大1,000万円を助成)  
上記の助成額を原則としますが、特に財団が認めた場合は、500万円を上限とした定額助成を行います。

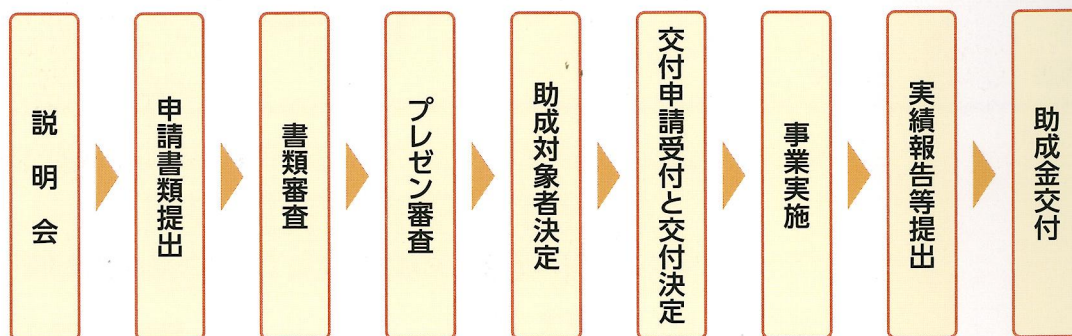
## ◎助成対象期間

交付決定の日から2か年度



## ◎スケジュール

書類・面接（プレゼンテーション）による審査を実施し、助成対象者を決定します。  
助成金は、原則として事業終了後に交付されます。



### 審査項目〈概要〉

- ①趣旨の適合性
- ②事業の目的
- ③事業の先駆性・先進性
- ④成果目標
- ⑤実現可能性
- ⑥収支予算的的確性
- ⑦実行体制の確保
- ⑧スケジュールの妥当性
- ⑨継続性
- ⑩波及効果
- ⑪上記項目以外で特に評価できる点

# Q&A

**Q** 若者支援事業の具体的なイメージは？

**A** 結婚して家庭を築きたいと希望する若者（35歳未満）を支援する事業であって、社会的・経済的な自立を支援する幅広い取組を期待しています。

**Q** 親子の健康づくり事業の具体的なイメージは？

**A** 出産や育児に関する不安を取り除き、楽しく子育てが出来るよう健康づくりを支援する多様な取組が想定されます。

**Q** 複数の事業者で共同申請を行う場合、主たる事業者以外の事業者についても募集要項の「応募対象者」要件をすべて満たす必要がありますか？

**A** 主たる法人（事業者）のみ「応募対象者」要件を満たしていれば、申請は可能です。

**Q** 出会い・結婚支援事業の具体的なイメージは？

**A** 様々な交流の機会や出会いの場づくりを通じて、若者同士がつながりを持ったり、若い世代が結婚生活をイメージできるような活動を想定しています。  
(出会いの機会に恵まれなかったり、家庭を持つイメージを持ちづらい者を対象とした事業を想定しています。)

**Q** 多世代交流事業の具体的なイメージは？

**A** 元気高齢者や若者（学生を含む）による子育て支援の取組が想定されます。

**Q** 複数の分野にまたがる事業提案を検討していますが、どのように提案したらよいですか？

**A** 事業内容については、主となる事業を1つお選びいただき、1つの事業として提案をお願いします。

## 寄附のお願い

「東京子育て応援基金」では、都民や企業等の皆様からの寄附を募っております。社会全体で子育ての応援を進めるといふ本基金の趣旨にご賛同いただき、東京子育て応援基金の拡充にご支援、ご協力をいただきますよう、お願いいたします。  
いただいた寄附は、東京子育て応援事業の助成金に充てさせていただきます。

お問い合わせ先 公益財団法人東京都福祉保健財団 事業者支援部 運営支援室 子育て応援担当  
〒163-0718 東京都新宿区西新宿二丁目7番1号 小田急第一生命ビル 18階  
お電話 ▶ **03-3344-8535** FAX ▶ **03-3344-8596**  
Email ▶ **kosodateouen@fukushizaidan.jp**  
ホームページ ▶ **http://www.fukushizaidan.jp**